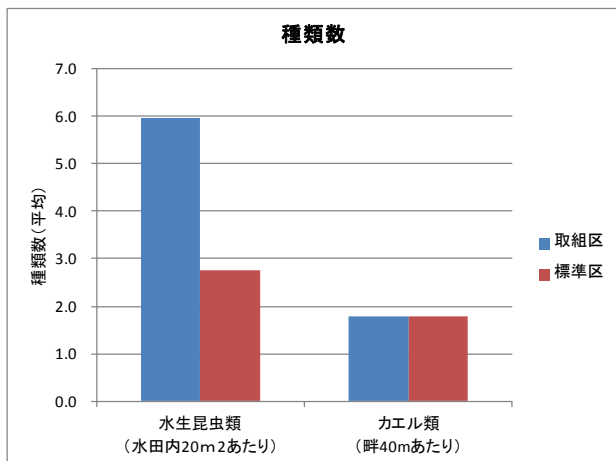


# 冬期湛水

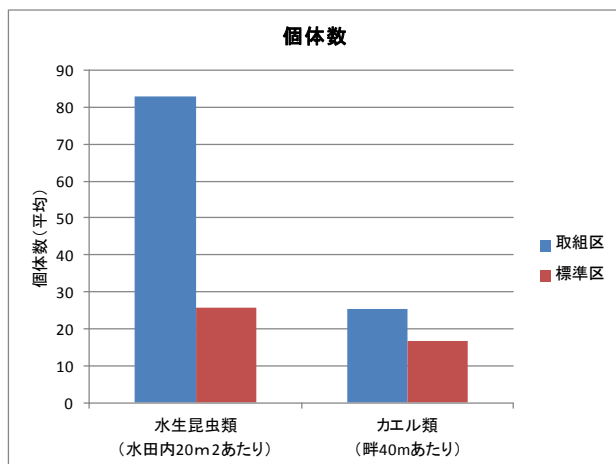
## 取組区と標準区の比較

調査地点数: 21地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり)	6.0	2.8	82.8	25.8	1.45	0.76
カエル類(畔40mあたり)	1.8	1.8	25.2	16.6	0.43	0.43

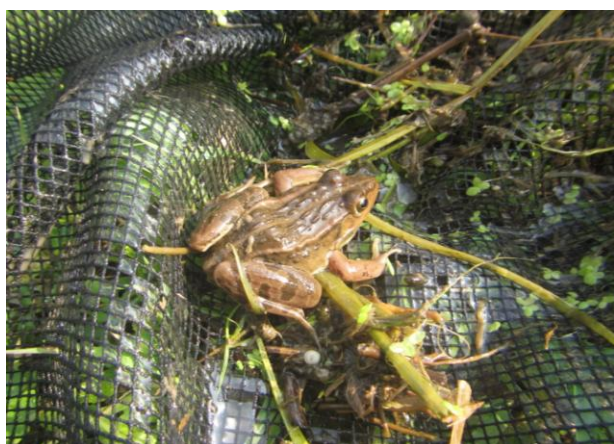
※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田 (小浜市)



取組区の水田 (越前市)



確認されたカエル類 (トノサマガエル)

冬期湛水の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類及び個体数、カエル類の個体数について取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

多様度指数は、水生昆虫類は取組区のほうが高くなる結果となった。カエル類は、両区でほとんど差はみられなかった。